

令和 8 年度農作物病虫害発生予察技術資料第 5 号

令和 8 年(2026 年) 8 月 18 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

果樹カメムシ類の防除の徹底について

果樹カメムシ類については、注意報第 1 号（4 月 30 日付発令）を発表し、防除の徹底を呼びかけていますが、依然として発生が多い状況が続いています。ナシ、リンゴ、カンキツ等を中心に被害が発生するおそれがあるので、防除対策を徹底してください。

1 対象作物 果樹全般（ナシ、リンゴ、カンキツ、カキ、キウイフルーツ等）

2 発生状況

- （1）予察灯（県内 4 か所、7 月 11 日～8 月 10 日合計）における誘殺数は、1,431 頭（平成 436 頭）で平成に比べやや多かった（図 1）。
- （2）フェロモントラップ（県内 3 か所、7 月 11 日～8 月 10 日合計）におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、23,538 頭（平成 6,290 頭）で平成に比べやや多かった（図 2）。
- （3）果樹カメムシ類が餌としているスギ・ヒノキ球果が吸汁により餌として適さなくなるため、スギ・ヒノキで発育した次世代成虫の果樹園への飛来時期が8 月下旬以降に早まると予想される。

3 防除対策

- （1）果樹カメムシ類の飛来時期や量は、地域や園地による差が大きいため、園全体をみまわり飛来状況の把握に努める。
- （2）果樹カメムシ類は夜行性のため、夕方から夜間に園地内または園地周辺の外灯等を観察し、カメムシ類の飛来を確認したら速やかに防除を行う。
- （3）施設栽培では 4 mm 目以下のネットで侵入防止対策を行う。
- （4）地域一斉の薬剤散布で防除効果を高める。

4 防除上注意すべき事項

- （1）薬剤散布の際は、農薬使用基準を遵守し、周辺作物への飛散を防止するとともにミツバチ等に危害を及ぼすことがないように十分注意する。
- （2）今後の農作物病虫害発生予察情報は、病虫害防除所のホームページなどで確認する。
(<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22321.html>)

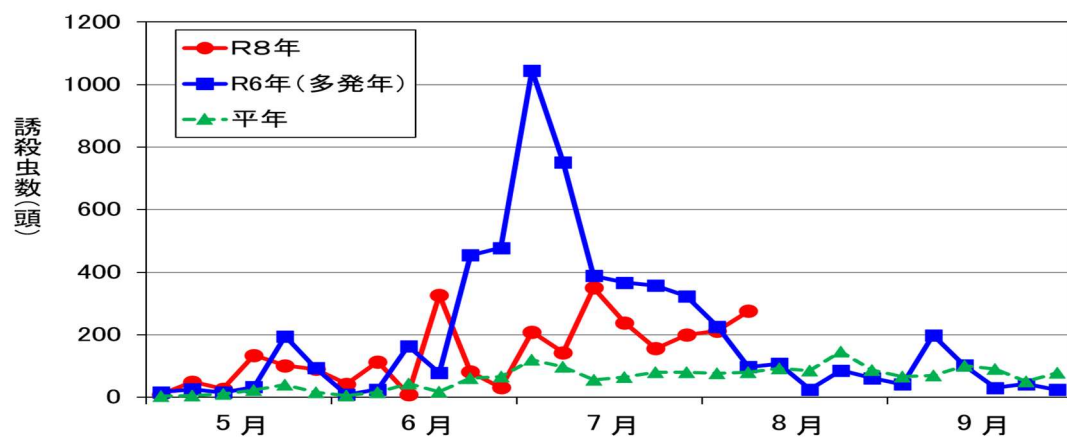


図1 果樹カメムシ類の予察灯誘殺数(県内4か所合計)

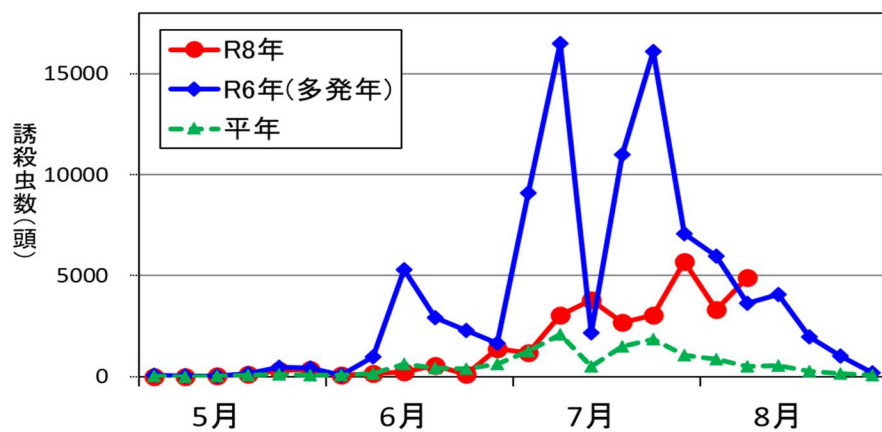


図2 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数(県内3か所合計)



チャバネアオカメムシ



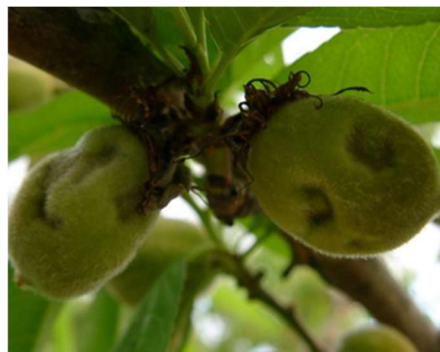
ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ



ナシの被害



モモの被害